

【重要】製品配線図ラベルの誤表記に関するお詫びと訂正のお知らせ

平素より弊社製品をご愛用いただき、誠にありがとうございます。

この度、弊社製品の一部において、本体に貼り付けられている「配線図シール」内の回路図に誤表記があることが判明いたしました。

ご使用のお客様には多大なるご迷惑をおかけしますことを、心よりお詫び申し上げます。

つきましては、下記の通り訂正内容をご案内いたします。対象製品をご使用のお客様におかれましては、ご確認いただけますようお願い申し上げます。

1. 対象機種および製造番号（初回ロット）

機種型番	対象製造番号	対象台数
SS-45DL-3	GT100004・GT100005・GT100006～GT100126	123 台
SS-45EL-3	GT100004・GT100005・GT100006～GT100441	438 台
SS-63EL-3	GT100001・GT100004・GT100005・GT100006～GT100126	124 台

2. 誤記の内容

本体貼付の配線図シール内「回路図」において、**2 箇所の電磁接触器のサーマル設定値が逆に記載されておりました。**

正： 配線図シール内の「配線図」側に記載されている数値

誤： 配線図シール内の「回路図」内に記載されている数値

【ご注意】

正しい数値は、同シール内の「配線図」側に記載されております。メンテナンスや点検の際は、配線図側の数値をご参照ください。

お手元の資料や本体表示に代わり、最新のデータをダウンロードしてご活用いただけますようお願い申し上げます。

3. 製品使用について

本件は、表示上の誤表記であり、製品の安全性、性能には影響ございません。

そのままご使用いただいて問題ございません。

今後は再発防止に向け、より一層の品質管理体制の強化に努めてまいります。

Suiden

業務用

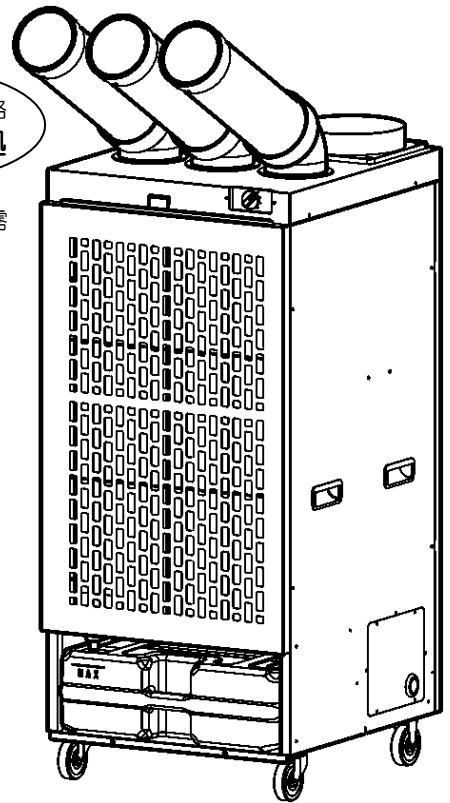
スポットエアコン クールスイファン SS-63EL-3



取扱説明書

日本冷凍空調工業会規格
JRA4040 準拠

オゾン破壊係数零
R32採用



もくじ		ページ
1	安全のために必ずお守りください…	1
2	仕様 ……………	3
3	各部の名称と付属品 ……………	4
4	準備 ……………	4
	1. 本体の設置……………	4
	2. 冷風ダクトとダクト用エルボ……………	5
	3. 本体と電源の接続……………	5
	4. 試運転……………	6
5	ご使用方法……………	6
	1. 運転スイッチ……………	6
	2. 風向き調節……………	7
	3. ドレンタンク……………	7
6	保護装置……………	8
7	お手入れと保管……………	9
	1. フィルターのお掃除……………	9
	2. 外装のお手入れ……………	9
	3. シーズンの始めと終わりのお手入れ…	9
8	安全のための点検のお願い ……………	10
9	こんなときは(故障かな?と思ったら)…	11
	別売品のご紹介 ……………	12
10	経年劣化に係る安全上の表示について…	14
11	アフターサービスと保証について…	15

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰もが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド< **Suiden** スイデン >製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

日本国内交流電源仕様




1 安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この『安全のために必ずお守りください』をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、下記2項目に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。









⚠警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。



絵表示の例

	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。（左図は感電注意）
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描いているものもあります。（左図は分解禁止）
	●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。（左図はアースする）

⚠警告 使用上の注意事項

- | | |
|---|--|
|  爆発性粉じんなどの近くや雰囲気内で使用しない。
* 爆発したり、火災の原因になります。 |  引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くで使用しない。
* 爆発したり、火災の原因になります。 |
|  濡れた手で、電源プラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。
* 感電やケガの恐れがあります。 |  水・油などをかけない。
* 火災・感電・漏電の原因になります。 |
|  タコ足配線をしない。
指定の延長コード以外は使用しない。
* コンセント部などが異常発熱し、火災の原因になります。 |  アースを確実に取付け、漏電ブレーカー（別売市販品）を使用する。
* 漏電などにより感電する恐れがあります。 |
|  定格20A以上のコンセントを単独で使用する。
* 他の器具と併用すると、コンセント部が異常発熱し、火災の原因になります。 |  電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。
* 湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 |

⚠注意 使用上の注意事項

- | | |
|--|--|
|  決められた製品仕様以外で使用しない。
* 25℃、50%～45℃、40%の雰囲気内でご使用ください。
漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。 |  船舶・車両などの空調用としては使用しない。
* 水漏れ・漏電の原因になります。 |
|--|--|

⚠️ 注意 使用上の注意事項



人体に有害な粉じんが浮遊する場所に置かない。

* 本機に有害な粉じんが付着すると、運転時に有害粉じんが拡散する恐れがあります。



導電体の粉じん発生場所で使用しない。

* 感電やショートして発火する恐れがあります。



切削油などの油が立ち込める場所で使用しない。

* 樹脂部の劣化により、ケガや事故の恐れがあります。



火花の飛び散る場所で使用しない。
火気に近づけない。

* 火災の原因になります。



修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造をしない。

* 発火したり異常動作をすることがあります。



冷風を長時間、体にあてない。

* 健康を害する恐れがあります。



動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。

* 感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。



電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。

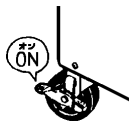
電源プラグにピンやゴミを付着させない。

* 感電やショートして発火することがあります。



運転時は、キャスターのストッパーをONにして固定する。

* ケガや事故の原因になります。



使用しないときや、お手入れの際、保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

* 感電やケガをすることがあります。



浮遊粉じんの多いところや、油分の多いところに設置するときは、設置場所の雰囲気に対応したフィルターを使用する。

* 標準仕様そのままで使用すると、トラブルの原因になる場合があります。

販売店または当社担当者にご相談ください。



浮遊粉じんの多い場所では、必ず定期的に内部を掃除する。

* 感電やショートして発火することがあります。



振動のある場所や傾斜のある場所で使用しない。

* 転倒などによりケガや事故の原因になります。



金属部品(アルミフィン)にさわらない。
排気口に手や指を入れない。

* ケガをする恐れがあります。



定格電圧内で使用する。

電源の±10%以内

* 感電やショートして発火することがあります。



電源コードは、指定の長さ以内で、指定の公称断面積のものを使用する。

* コードが発熱して火災の危険があります。



電源コードを加工したり、傷んだままや束ねたまま使用しない。

* 火災や感電の原因になります。



搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。

* 落下・破損などによりケガの原因になります。

* 腰を痛める原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引抜く。

* 感電やショートして発火することがあります。

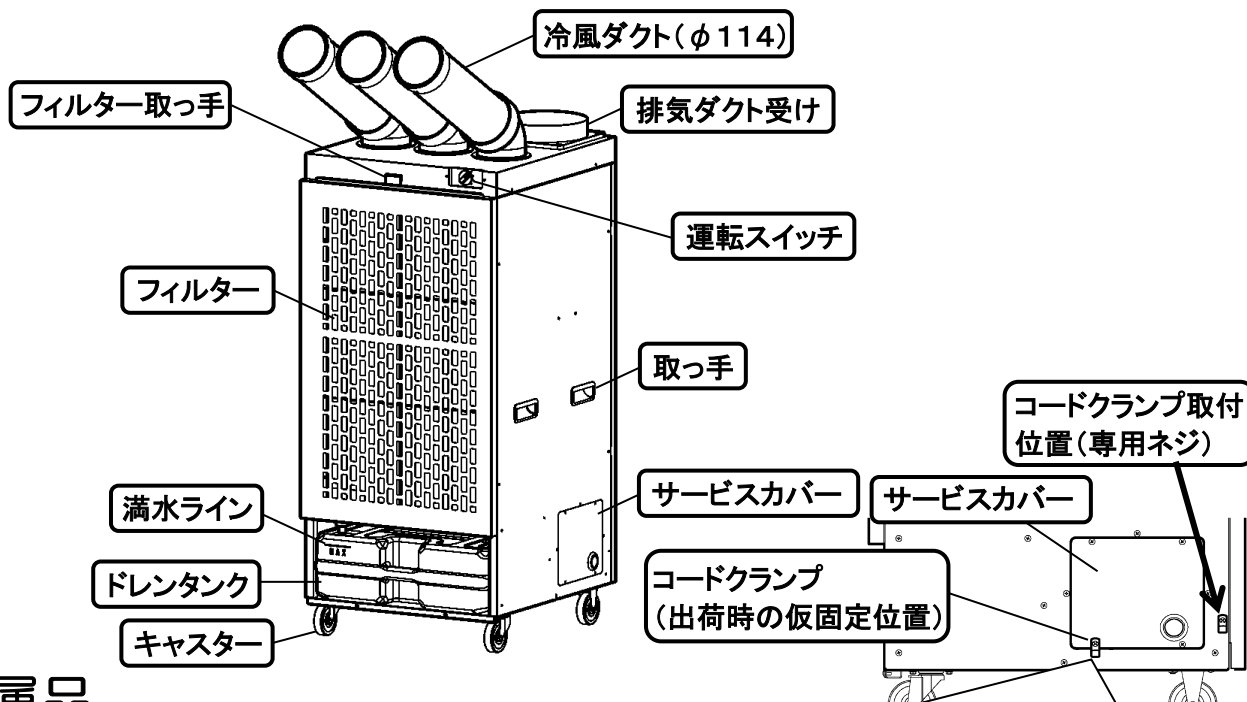
2 仕様

品 番		SS-63EL-3
種 類	機 能	冷房専用
	ユニット構成	一体形
	送風方式	直吹き形
電 源		3相200V 50/60 Hz
冷 房 能 力		6.2/6.7 kW
圧 縮 機		全密閉型ロータリー
		出力 2.43kW
電動機公称出力		650 W
冷 風 側 風 量		14.3/16.1 m ³ /min
排 熱 側 風 量		24.0/27.1 m ³ /min
冷風吹出温度差		10.5/10.6 °C
消 費 電 力		2.49/3.20 kW
定格冷房エネルギー消費効率		2.48/2.09
始 動 電 流		39.6/45.5 A
運 転 電 流		9.2/10.4 A
力 率		78/89 %
冷 媒		R32
冷 媒 封 入 量		925 g
設 計 圧 力		H: 4.29 MPa L: 1.73 MPa
I P コ ー ド		IP10
製 品 質 量		81 kg
外 形 寸 法		幅520×奥行584×高さ1152 mm(冷風ダクト含まず)
運 転 可 能 条 件		25°C (50%) ~ 45°C (40%)

- 冷房能力、冷風吹出温度差、消費電力、運転電流は、周囲温度37°C、相対湿度60%で運転したときの値です。
- 相対湿度80%を超える環境で運転を続けると、製品内部の結露が多くなりドレン水がドレンタンク内に落ちずに周囲に飛散することがあります。

3 各部の名称と付属品

外観図



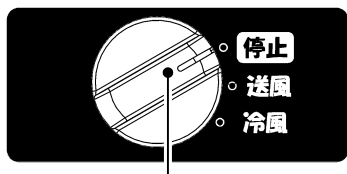
付属品

名称	個数
冷風ダクト(φ114)	3
設置説明書	1

- ① 出荷時、コードクランプはサービスカバーのフタを留めるネジで仮固定されていますが、実際の取付けの際は、サービスカバー横の専用ネジをご使用ください。
- ② 径φ10.6より太い電源コードをご使用のときは、本機に装備しているコードクランプでは電源コードを固定できません。その場合はコード径に合った市販のコードクランプをご用意いただくか、または結束バンドを使用してコードクランプに電源コードを固定していただきますようお願いいたします。

運転スイッチ

《SS-63EL-3》

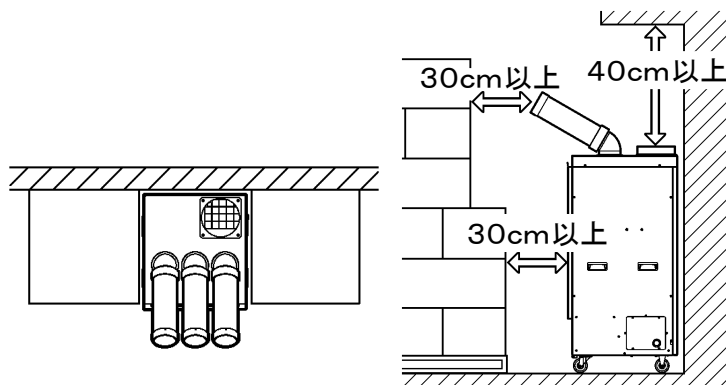


運転スイッチ
「送風」「冷風」「停止」を選びます。

4 準備

1. 本体の設置

フィルター前面および冷風ダクトの吹出し方向に障害物のない場所に設置してください。狭い空間でもコンパクトに設置が可能です。水平な場所に設置し、ストッパーで本機が動かないように固定してください。



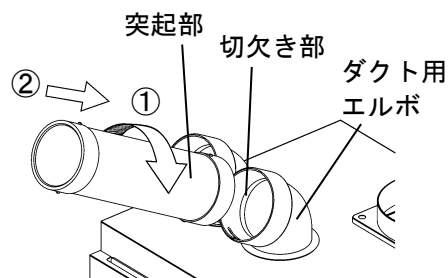
お願い

- ①閉め切った部屋などでご使用されると本機の排気(排熱)がこもりますのでご注意ください。
- ②酸性またはアルカリ性など一般の雰囲気と異なる場所に設置しないでください。
* 熱交換器などが腐食する恐れがあります。
- ③床置き仕様です。床面以外(棚の上など)で使用しないでください。
- ④屋外や、屋内の水のかかる場所で使用しないでください。* 故障の原因になります。

2. 冷風ダクトとダクト用エルボ

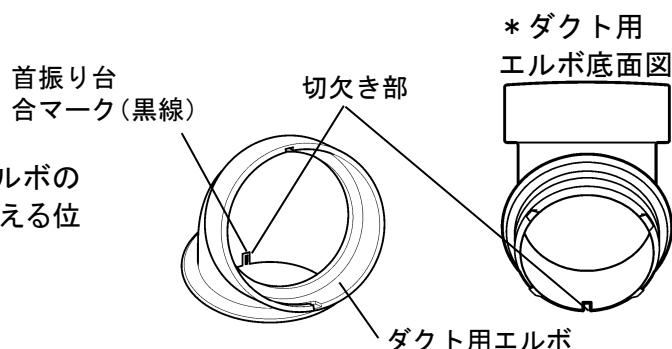
(1) 冷風ダクトの取付け

- ①ダクト用エルボの切欠き部に、冷風ダクトの突起部を合わせて差込み、右側に止まるまで回します。
 - ②ダクト用エルボを回して、送風したい向きに冷風ダクトを向けてください。
- * 送風範囲は、7ページ「風向き調節」の項をご参照ください。
* 冷風ダクトは、ダクト用エルボ側に近いところを持って取付けてください。吹き出し口側を持って冷風ダクトを回すと、冷風ダクトが柔らかくなり垂れ下がる可能性があります。



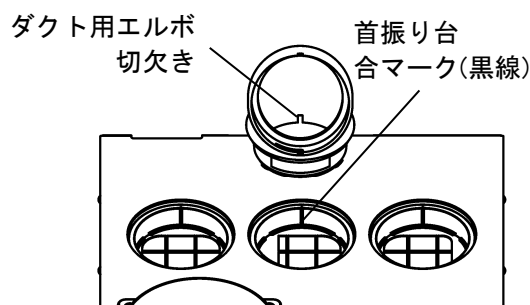
(2) ダクト用エルボを取外すとき

- ①冷風ダクトを取外します。
- ②ダクト用エルボを左右に回して、ダクト用エルボの切欠き部から首振り台の合マーク(黒線)が見える位置を探し、黒線の位置に切欠きを合わせます。
- ③ダクト用エルボを上へ引抜きます。



(3) 再びダクト用エルボを取付けるとき

- ①首振り台の合マーク(黒線)の位置に、ダクト用エルボの切欠きを合わせて差込みます。
- ②ダクト用エルボを差込んだ後、軽く左右に回して、切欠き位置と合マークをずらし、エルボが抜けないようにしてください。



お願い

ダクト用エルボが浮き上がっている部分があれば、差込み直してください。

3. 本体と電源の接続

注記

- ①電気工事およびアース工事は、電気事業法および同法省令“電気設備に関する技術基準”に従い、一般社団法人日本電気協会制定の“内線規程”を参考にしてください。
- ②電気工事は、有資格者もしくは認定を受けた電気工事店でなければ施工できません。
- ③電源は、スポットエアコン専用の電源につないでください。
- ④電源電線および延長コードは、必ず指定の長さ・公称断面積のものを使用してください。
* 電気容量の不足や電線の容量不足は、本体トラブルの原因になります。

(1) 電気配線

電源は、専用回線(専用電源)をご使用ください。

(2) アース工事

静電防止および感電事故防止のため、必ずD種接地工事を行ってください。
工事を行うには、資格が必要です。

(3) 漏電ブレーカー

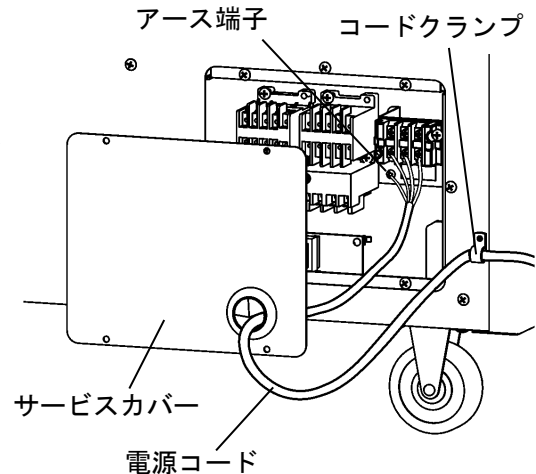
漏電ブレーカーは、20A、30mA、0.1sec以下のものを使用してください。

(4) 使用電源電線

電線の長さ	公称断面積
13m以内	2.0mm ²
24m以内	3.5mm ²
37m以内	5.5mm ²
アース線	2.0mm ² 以上

(5) 本体と電源の接続

- ① サービスカバー固定ネジを外し、カバーを取外してください。
- ② サービスカバー裏の配線図に従って接続してください。
 - 1) 結線の前に、サービスカバーの外側から、電源コードをグロメットに通してください。
 - 2) 端子台に、電源コードを接続してください。
 - 3) 接触不良防止のため、電源コードの先端にメガネ端子などを使用してください。
- ③ アースは必ずアース端子(ネジ)より取ってください。
- ④ サービスカバーを元の位置に取付けてください。
- ⑤ 接続不良防止するため、コードは必ずカバー横のクランプで固定してください。



お願い 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜くか、元電源(ブレーカー)を切ってください。

4. 試運転

運転スイッチを操作し、各機能が異常なく作動するかご確認ください。

- ① 各スイッチの操作方法は、次項「ご使用方法」の各項目をご参照ください。
- ② 異常がある(作動しない)場合は、11ページ「こんなときは」の各項目をご参照ください。

お願い 「冷風」運転から「送風」運転に切替えまたは「停止」して、再び「冷風」運転にするときは、3分以上お待ちください。
* 3分以内での切替えを頻繁に行うと、配管の割れによるガス漏れまたはコンプレッサーや保護装置が故障する恐れがあります。

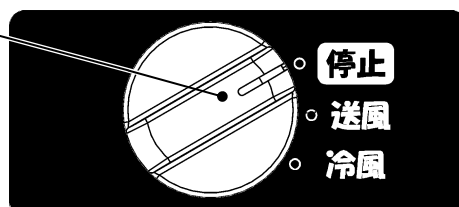
5 ご使用方法

1. 運転スイッチ

「送風」…ハネが回り、送風します。(冷風運転ではありません)※コンプレッサーは作動していません。

「冷風」…コンプレッサーが作動し、冷風運転を行います。

運転スイッチ
「送風」「冷風」を切替えます。



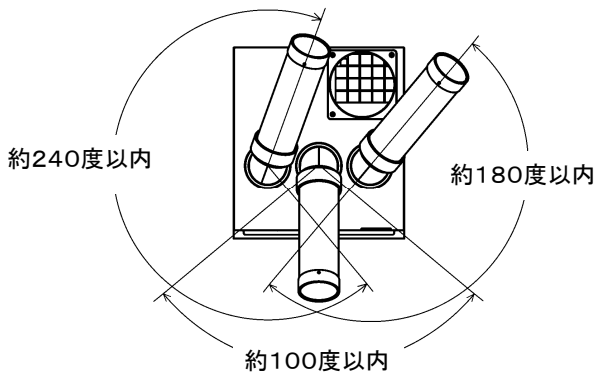
2. 風向き調節

(1) 首振り位置

冷風ダクトは動かさずので調節してご使用ください。

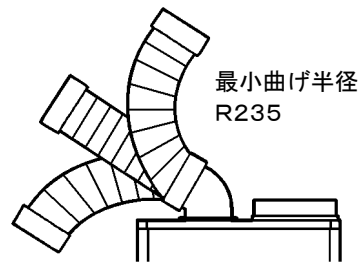
《水平方向》

下図の範囲で回転します。



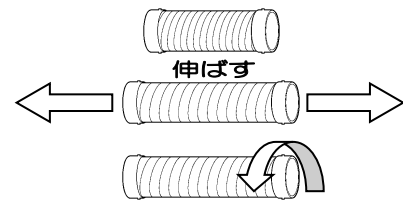
《上下方向》

ダクトは可動範囲内で自由に曲げることができます。ダクト最小曲げ半径R235。



(2) 冷風ダクトの柔軟性

- ①冷風ダクトの両端を左右に引っ張り、伸ばす。
- ②両端のダクトキャップをねじる。
片側を固定し、手前に1~2周ねじると冷風ダクトの腰が強くなります。



片側は固定 手前に1~2周ねじる

お願い

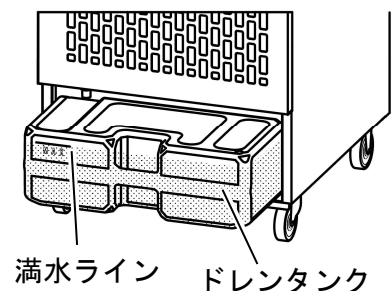
- ①冷風ダクトを曲げるときは、エルボ部分に手を添えて、ていねいに曲げてください。
*無理をすると部分破損の原因になります。
- ②冷風ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れしないでください。
*内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
- ③冷風ダクトの曲げ方向などにより、風圧で冷風ダクトが自然に動くことがあります。

3. ドレンタンク

(1) ドレン水(除湿した水)はドレンタンクに溜まります。

本機は、熱交換器上部の蒸発側で除湿したときに発生するドレン水を、下部凝縮側で一部蒸発しています。

使用環境によってはドレン水がほとんど蒸発し、ドレンタンクには少量のドレン水しか溜まらない場合がありますが、故障ではありません。



お願い

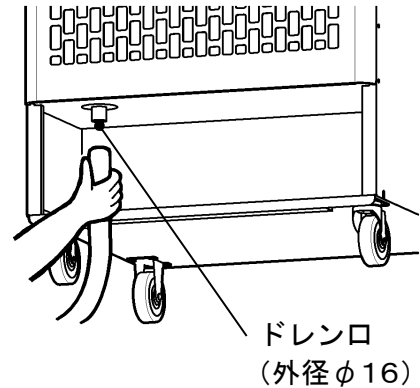
- ①ドレン水量は、外気温、湿度や熱交換器の汚れなどで大きく変わります。
特に梅雨時期など湿度の高い時期は、ドレン水量が増えますので、ご注意ください。
- ②ドレン水量は、ドレンタンクで確認してください。
- ③ドレン水は、満水になると床に漏れ出します。ドレンタンク内の水量に充分ご注意の上、満水ラインに達する前に早めにドレン水を捨ててください。
- ④本機を移動するときは、ドレン水を捨ててから移動してください。タンクにドレン水が入っていると本体内部に漏れ出る恐れがあります。

(2) ドレン水をホースで排水するとき

ドレン口にホースを差込むと、直接排水することができます。

ホースは、内径φ16mmのものをご用意ください。

- ① ドレンタンクを取出し、天井左部分にドレン口がありますので、ホースを差込み、バンドで固定してください。
- ② ①で接続したホースを排水溝などに入れてください。



6 保護装置

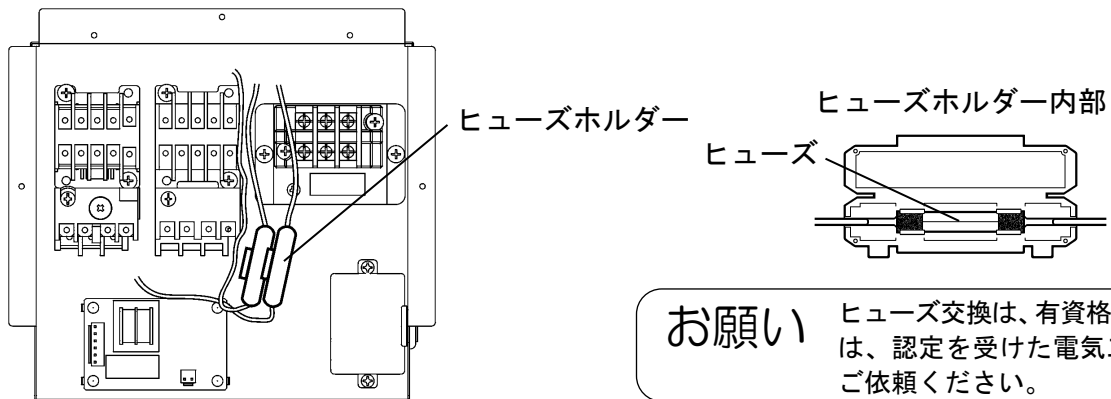
(1) コンプレッサー用オーバーロードリレー

- ① 電圧の低下などによる過電流や、モータの異常過熱からコンプレッサーを保護します。
- ② オーバーロードリレーは自動復帰型です。
頻繁にオーバーロードリレーが作動する（コンプレッサーが停止する）場合は、原因を取除いてください。故障の原因になります。
11ページ「こんなときは」の“運転・停止を繰り返す”をご参照ください。

(2) ヒューズ

ヒューズは、サービスカバー内部にあります。

ヒューズは、ガラス管ヒューズ 長さ30mm 7A (250V) を使用しています。



(3) 逆相防止リレー

- ① 誤配線によるコンプレッサートラブルを防止します。
- ② 新規配線や電源の位置を変えたときに誤配線があると、逆相防止リレーにより、スイッチを入れても本機が作動しない構造になっています。
- ③ スイッチを入れても本機が作動しないときは、端子台に接続している電源コード3本のうちの2本を入れ替えて配線し直してみてください。

(4) 凍結防止サーモ

- ① 周囲温度の低下(25°C未満)による、熱交換器(蒸発側)の凍結を防止します。
- ② 凍結防止サーモは自動復帰型です。頻繁に凍結防止サーモが作動(コンプレッサーが停止)する場合は、原因を取除いてください。故障の原因になります。

(5) 過負荷防止サーマル(電磁開閉器)

電圧の低下などによる過電流からコンプレッサー・ファンモータを保護します。

* 過負荷防止サーマルは、手動復帰型です。

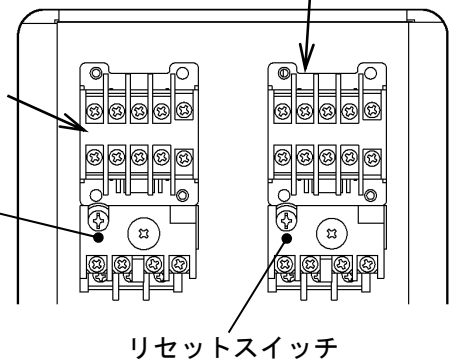
● 保護装置が働いて、運転が停止したとき

- ① 運転スイッチを「停止」にしてください。
- ② 必ず電源を遮断してください。
- ③ 原因を取除いてください。
- ④ サービスカバー内部左上にあるリセットスイッチを押込むと、復帰します。

コンプレッサー用
過負荷防止サーマル

リセットスイッチ

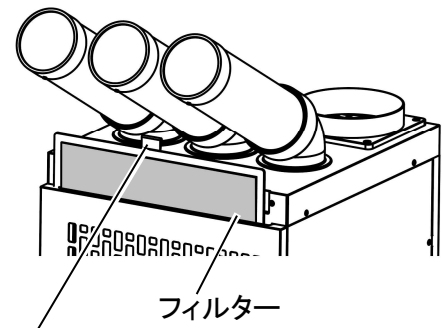
ファンモータ用
過負荷防止サーマル



7 お手入れと保管

1. フィルターのお掃除

- ① フィルターを上に取り上げて外してください。
- ② フィルターのホコリを電気掃除機などで吸取ってください。
- ③ 汚れがひどいときは、水洗いをしてください。
- ④ フィルターは、完全に乾かしてから取付けてください。



お願い シーズン中は2週間に1回以上フィルターの掃除をしてください。
・フィルターはシーズン始めには必ず掃除してください。
・フィルターにほこりがたまると冷房能力が低下します。
・特にほこりの多い場所でご使用の場合は、頻繁にフィルターを掃除してください。

2. 外装のお手入れ

ダクトや外装の汚れは、乾いた布で拭くか、薄めた中性洗剤をつけた布で拭いてください。

お願い ① シンナー・ベンジン・薬品・みがき粉などをご使用になると、塗装面を傷めたり、故障の原因になりますのでご使用は控えてください。
② 高圧洗浄機で洗浄しないでください。故障の原因になります。

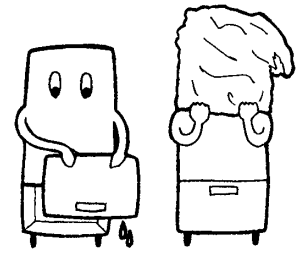
3. シーズンの始めと終わりのお手入れ

(1) シーズン始め

- ① シーズン始めには、必ずフィルターのお掃除をしてください。
* フィルターにほこりなどが付着していると冷房能力が低下します。
- ② 熱交換器が汚れていると、冷房能力が下がったり故障の原因になります。

(2) シーズン終わり

- ① フィルターの掃除、本体外装のお手入れをしてください。
- ② ドレンタンク内の水を捨てて、中を乾燥させてください。
- ③ 1時間程、送風運転を行い、本体内部を乾燥させてください。
*カビなどの発生を防止するためです。
- ④ ホコリがたまらないように適当なカバーをかけてください。
- ⑤ 部品をなくさないように、保管してください。



※熱交換器、シロッコファンなどの内部清掃は、販売店またはスイデン・サービスショップ、スイデンお客様相談室にご相談ください。(清掃・点検は有料です)

お願い 本機を横倒しで保管しないでください。
*再始動のとき、コンプレッサーなどの故障の原因になります。

8 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検をしてください。
点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。

点検項目	処 置
電源コードは、傷んだり変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。
電源プラグは、変形やガタがありませんか？	
電源プラグは、コンセントに正しく差込まれていますか？	正しく差込んでください。
ダクトは変形したり、破れていませんか？	ダクトを交換してください。
フィルターに、ホコリやゴミが詰まっていますか？	フィルターを掃除してください。
フィルターは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
フィルターは、破れていませんか？	フィルターを交換してください。
フィルターや冷風ダクトをふさいでいませんか？	障害物を取除いてください。
熱交換器のフィンが変形していたり、ホコリや油汚れが付着していませんか？	販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。
ドレンタンクは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
ドレンタンクは、破損していませんか？	ドレンタンクを交換してください。
キャスターは、磨耗していませんか？	キャスターの交換が必要です。
キャスターのストッパーは、正常に働きますか？	
各スイッチは、正しく機能しますか？	11ページ「こんなときは」を参考に調べていただき、直らない場合は、販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。
異音・異臭はありませんか？	販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。

9 こんなときは（故障かな?と思ったら）

ご 確 認 く だ さ い		
症 状	原 因	処 置
運転しない	電源が供給されていますか？（停電など）	通電されるまで運転スイッチを「停止」の位置にして待ってください。 「冷風」の位置のまま通電すると、ヒューズが切れたりブレーカーが落ちることがあります。
	電源プラグをコンセントに差込んでいますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。
	電源コードが断線していませんか？	断線を直してください。
	電源用ヒューズが切れていたり、ブレーカーが落ちていませんか？	電気の専門家がおられない場合は、販売店にご相談ください。
	逆相防止リレーが作動していませんか？	電源の3本線のうち2本を入替えて結線し直してください。
ヒューズまたはブレーカーが切れる	ブレーカーの容量は充分にありますか？	ブレーカーは本機専用とし、分岐回路も本機専用にしてください。
	3分間停止を守りましたか？	スポットエアコンを「停止」して、再び運転を開始する場合は、3分間以上の時間をおいてから「冷風」運転してください。
	電源電圧が低くなっていませんか？	電力会社にご相談ください。
運転・停止を繰り返す（オーバーロードリレー作動）	電源電圧が低くなっていませんか？	電力会社にご相談ください。
	電源コードの容量不足ではありませんか？	適正な電源コードに交換してください。 （6ページ「使用電源電線」の項参照）
運転・停止を繰り返す（サーマルプロテクター作動）	電源（延長）コードの容量不足ではありませんか？	電源（延長）コードに交換してください。 （6ページ「使用電源電線」の項参照）
運転・停止を繰り返す（凍結防止サーモ作動）	周囲温度が低すぎませんか？（25℃未満）	連続運転可能範囲内25℃～45℃ご使用ください。
冷えない	運転スイッチが「送風」になっていませんか？	「冷風」にしてください。
	フィルターや、冷風ダクトがふさがれていますか？	障害物を取除いてください。
	フィルターがホコリやゴミで目詰まりしていませんか？	フィルターを掃除してください。
	オーバーロードリレーが作動していませんか？	自動復帰型です。 運転スイッチを「停止」に戻して、原因を取除いてください。再運転は、停止してから3分以上時間をおいてください。
冷えがにぶい	周囲温度が高すぎませんか？ （45℃を超える温度）	風通しを良くするなど、連続運転可能範囲内でご使用ください。 連続運転可能範囲は、25℃～45℃です。
機外へ水が漏れる	ドレン口が詰まっていますか？	ドレン口を掃除してください。
	ドレンタンクが満水になっていませんか？	ドレンタンク内の水を捨ててください。
	ドレンタンクを正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
	ドレンタンクが破損していませんか？	補修するか、新品に交換してください。
冷風ダクトが結露している	周辺湿度が高くないですか？ 湿度が高い場合は結露する可能性があります。	ダクトから水滴が落ちるほど結露する場合は別売「結露防止ダクト」をご検討ください。

■上記処置をしても直らない場合は、販売店またはスイデン・サービスショップ、スイデンお客様相談室へご相談ください。

別売品のご紹介*****

●排気ダクト《品番：SS-HD-200-360》

(内径φ200mm×長さ36cm)

排気が勢い良く上昇し、機器の周りに排熱がたまりません。

●延長排気ダクト《品番：SS-HD-200-4M》

(内径φ200mm×長さ4m)

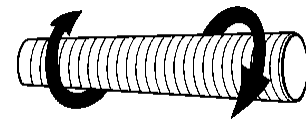
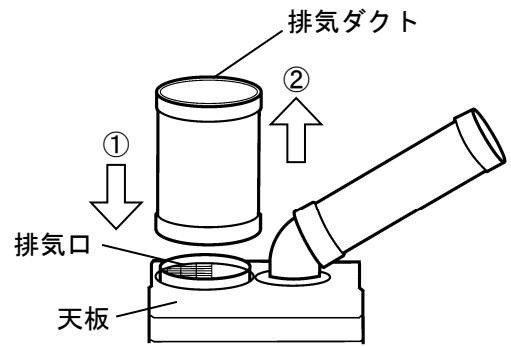
室外に排熱空気を排出できます。

《排気ダクトの取付け》

排気ダクトは、フレキシブルなポリプロピレン製のダクトです。手で円周方向に左右逆回転にねじると、口径が±15%まで変化します。

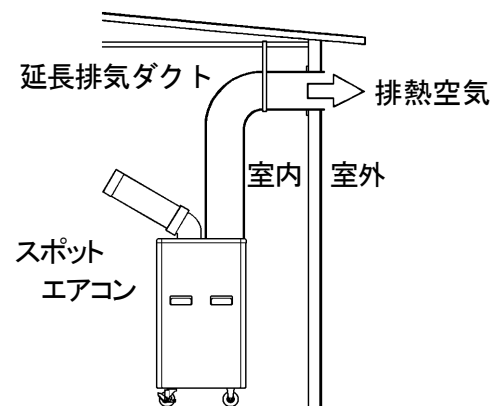
①排気ダクト受けに、排気ダクトまたは延長排気ダクトをかぶせてください。

②延長排気ダクトは、ワイヤーホースバンドなどで締付けると安定します。



注記

- ①壁などに穴を開けて延長排気ダクトを設置する場合は、工事業者などにご依頼ください。
*素人工事は、雨漏りなどのトラブルの原因になります。
- ②排気ダクトや延長排気ダクトの先端を細く絞ったり、排気口を塞がないでください。
*機能を妨げ、故障の原因になります。
- ③排気ダクトや延長排気ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。
*内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
- ④周囲温度40℃以上の場所では、延長排気ダクトは使用しないでください。
*冷えが悪くなる可能性があります。
*排気ダクトはご使用いただけます。



●結露防止冷風ダクト 《品番：SS-D-KB-114-550》

冷風ダクトから水滴が落ちるほど結露する場合は、対策として「結露防止冷風ダクト」をご用意しています。冷風ダクトと交換するだけの簡単装着です。

●延長冷風ダクト 《品番：SS-D-125-5M》

延長冷風ダクト(内径φ125mm×長さ5m)を用意しています。
作業場所の近くに本機を設置できないときなどにご利用ください。

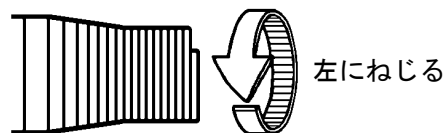
《口径を変化させる》

- ①ダクトを左にねじると口径が小さくなり、風速をアップすることができます。
- ②ダクトを右にねじると口径が広がります。

注記

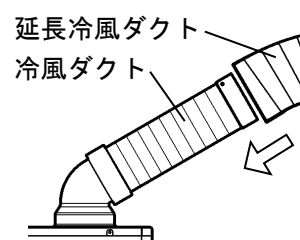
- ①ダクト先端を過度に細く絞ると、能力低下や故障の原因になります。ご注意ください。
- ②延長冷風ダクトの口径を変化させたときは、ダクトキャップの取付けはできません。

(別売) 延長冷風ダクト



《冷風ダクトにて延長冷風ダクトを接続する》

- ①延長冷風ダクトの片側を右にねじって口径を広げます。
※上記《口径を変化させる》参照
- ②冷風ダクトのダクトキャップの上から口径を広げた延長冷風ダクトをかぶせます。延長冷風ダクトを左にねじって絞り、テープなどでシールした後、別売止めバンドで止めてください。
- ③延長冷風ダクトに付属のダクトキャップを接着剤などで固定します。



《延長冷風ダクトを固定する》

延長冷風ダクトは、ワイヤーなどで天井から吊すか、壁面にしっかりと固定してください。

注記

- 延長冷風ダクトをご使用の場合は、ダクトを首振りさせないでください。
* 首振り装置の故障の原因になります。

《延長冷風ダクトの切断》

延長冷風ダクトは切断できます。ダクトが長すぎるときは、下記要領で必要な長さに切断してください。

- ①切ろうとするダクト部分をマイナスドライバーのように先端が鋭利なものでこじります。



- ②ダクトの溝を外し、はさみかニッパーで切断します。



切断する

●防じんフィルター 《品番：SS-BF-23L-A》

頻繁に熱交換器が目詰まりを起こして冷風運転ができなくなる場合は、標準付属品のフィルターに重ねて別売の「防じんフィルター」を貼付けてご使用されることをお勧めします。

※綿、繊維、ガラス繊維などの粉じんが多い場所でご使用の場合などに。

※防じんフィルターが目詰まりすると、正常な冷風運転ができなくなります。防じんフィルターは、本機から外してこまめに洗浄してください。

●オイルミストフィルター 《品番：SS-OF-23L-A》

オイルミストが多い場所でご使用の場合は、標準付属品のフィルターに重ねて「オイルミストフィルター」を貼付けてご使用されることをお勧めします。

「オイルミストフィルター」を装着することにより、熱交換器の油汚れによる冷房能力の低下やドレン水の飛散を防止できます。

※オイルミストフィルターが目詰まりすると、正常な冷風運転ができなくなりますので交換してください。

スポットエアコンを保管される場合は、保管時にホコリが溜まることを防止できる「保管カバー」のご利用をお勧めします。

本体ピッタリサイズで、丈はボタンで4段階調節可能です。ラベル用透明ポケット付きなので製品管理も簡単に行えます。

10 経年劣化に係る安全上の表示について

【本製品の設計標準期間について】

本製品は、設計標準使用期間を10年と算出しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

* 標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で使用した場合に、安全上支障がなく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間です。

従って、メーカー無償保証期間とは異なるものですので、ご注意ください。

<設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、製造年を始期とし、(社)日本冷凍空調工業会自主基準に基づき、以下の使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

●設計標準使用期間を設定するための標準使用条件

種類	スポットエアコン	
型番	SS-63EL-3	
環境条件	電源電圧	3相200V
	周波数	50/60Hz
	冷房室外温度	35°C(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24°C)
	設置条件	標準設置
想定時間	1年間の使用日数	東京モデル 6月2日から9月21日までの112日間
	1日の使用時間	9時間/日
	1年間の使用時数	1008時間/年
●環境条件の冷房室外温度、冷房室外湿度は、JIS C9612の試験状態を参考にしています。		
●想定時間の1年間の使用日数は、JIS C9612の付属書3(ルームエアコンディショナの期間エネルギー消費効率算定のための試験および算出方法)を参考としています。		

<ご注意ください>

- 本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでご使用された場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが高くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間よりも早期に点検を受けることをおすすめします。
- 製品を目的外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準使用条件と異なる環境でご使用された場合も設計標準使用時間の到来前に経年劣化等による重大事故発生の恐れが高まることが予想されます。

11 アフターサービスと保証について

△ 注意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

- * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
- * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- * 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

フロン排出抑制法 第1種特定製品

- 1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- 2) この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 3) フロン類の種類、冷媒番号、地球温暖化係数および数量

機種	種類	冷媒番号	地球温暖化係数	数量
SS-63EL-3	HFC	R32	675	0.93 kg



●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後9年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。（日本国内でご使用の場合に限ります。）
ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

△安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検



★長年ご使用のスポットエアコンの点検を！

このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

お願い
異常があれば
ご使用を
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービス・修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお問い合わせください。

●お買い上げ販売店のメモ

店名	
電話番号	
お買い上げ年月日	年 月 日

株式会社 **スイデン**

〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪2-4-24
ホームページ <https://www.suiden.com>

お客様相談室
フリーダイヤル

0120-285-240

Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com